

「元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン」 素案に対する意見の概要及び県の考え方

【基本的な考え方に関するもの】

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
1	計画は全体的にバランスのとれた内容となっていると感じているが、限られた予算の中で着実な推進を望む。	「山口県活力創出本部」において、活力指標や重点施策の進捗状況等を把握するなど、総合的な進捗管理を行い、プランの着実な推進を図ることとしています。
2	文化・芸術の振興は、交流促進による経済需要の創出や経済の高付加価値化による成長をもたらすものであり、プランでも、産業力、観光力と並んで「文化力の向上」という方向付けをしていただきたい。	プランでは、「文化力の向上」に向けて、「文化・スポーツの振興」を重点施策の1つに掲げ、文化芸術に親しむ環境づくりや、文化芸術による人づくり・地域づくりを進めることとしています。
3	文化やスポーツの振興は、人材活力創造戦略に位置付けられているが、ひとつづくりだけでなく、地域活性化・地域経済の発展の柱となることが期待されていることから、「山口の魅力発信・観光力強化プロジェクト」や「地域の元気創出応援プロジェクト」にも関連付けることが必要である。	未来開拓戦略の中では、文化・スポーツの振興を、その活動を担う人に着目し、人材活力創造戦略に位置付けていますが、お示しのプロジェクトにおいても、文化、スポーツ体験等のテーマツーリズムや、地域の生活文化等を体験する「やまぐちスロー・ツーリズム」の推進に取り組むこととしています。

【突破プロジェクトや重点施策等に関するもの】

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
《人口減少・地方創生関係》		
4	国においても少子化や地方再生のための計画が策定され、新たな対策を行うという報道がある。是非その内容も県の計画に反映してほしい。	国の「地方創生」の取組は、プランと同じ方向を目指して進められているものであり、国の取組とも呼応し、積極的な提案を行いながら、効果的に施策を推進することとしています。
5	人口減少については、県民全員が自分自身のこととして捉え具体策を実行していくことが重要である。人材の流出をどう防ぐか、市街地の空洞化をどう防止するか、若者が安心して生活するにはどうすればよいか、まず考えるべきである。	プランでは、人口減少問題を本県の活力を維持・向上させていく上での最も大きな課題と位置付け、市町はもとより、企業、団体、県民の皆様力を結集し、その対策に取り組んでいくこととしています。
6	成長が見込まれる「健康・安心安全」「医療」「教育」「農業」「地域創生」「漁業」の分野において、地域の農山漁村・農林漁業の優位性を生かし、地域住民総参加のもと、地域の歴史や伝統を踏まえた取組を行うべき。	地域の特性や資源を有効に活用し地域活性化につなげることは非常に重要と考えており、いただいた御意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
《産業活力創造戦略関係》		
7	物流に「鉄道（JR）使用」の視点・記載が見られないのはなぜか。	鉄道、航空、港湾輸送機能を総合的に充実強化することは非常に重要と考えており、いただいた御意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
8	必要な公共工事は、プランに工事する箇所を記載して計画的に実施してほしい。	プランに公共工事の計画箇所を全て記載することはできませんが、公共工事については、必要性を十分検討の上、計画的に実施してまいります。
9	「中水（使用後処理水）」の活用施策の追加を検討いただきたい。	プランには、県の工業用水道事業の取組を掲載しており、いただいた御意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
10	主要な産業をしっかりと後押ししていくとともに、本県の立地環境を活かして情報関連のベンチャー企業の誘致に積極的に取り組んでもらいたい。	本県産業の活力を拡大するため、成長が期待される分野の企業への誘致活動を積極的に進めることとしています。

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
11	大手企業の誘致や若者が生き生きと働ける場の確保に力を入れ、県出身者を優先して採用するような仕組みを検討してほしい。	本県産業の活力を拡大するため、企業誘致への戦略的な取組を推進するとともに、関係機関と連携し、県外に進学した大学生等を中心としたUターン就職対策を積極的に進めることとしています。
12	超高齢化社会で医療費の増大がどんどん進んでいくため、医療関連の企業を誘致すべきである。	医療関連をはじめとした成長が期待される分野の企業への重点的な誘致活動を推進することとしています。
13	介護や農業の高齢化による人手不足を解消するため、ロボットの活用で新たな産業革命を進めるべきである。	成長が期待される分野の付加価値の高い研究開発等を促進することは重要であり、いただいた御意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
14	「次世代産業」として“医療”“環境・エネルギー”“水素”を挙げているが、この3分野に集中するということなのか。他に有望な分野はないのか。	基礎素材型産業等の集積、企業の持つ技術力など本県の特長・強みを活かし、今後の成長が期待できる分野として掲げているところです。 今後とも成長が期待される付加価値の高い産業の育成に努めてまいります。
15	「全国トップクラスの大量かつ高濃度の水素生成という本県の強み」というが、生成しているのは企業であり、現在も企業は需要に合わせて水素生産をしているのではないのか。県が企業の応援をするのか。	瀬戸内コンビナートで副産物として生成される水素を有効活用し、県内中小企業が行う水素を利用した製品開発や、県内市町が行う水素利活用による地域づくりを支援することとしています。
16	これからの山口県は、内発型の産業を育成することが必要であり、創業支援をしっかりとやるべきである。	地域の経済活動を活発化する上で、内発型の産業を育成することは重要であり、重点施策8により、多様な創業を支援してまいります。
17	中小企業の中にも優秀な技術を持つ企業があり、もっと育成し、どんどん人材を育成すべきである。	次世代を担う新たな成長分野である「医療関連」や「環境・エネルギー」分野、付加価値の高い「先端技術分野」などにおける産業育成や、これらの産業を担うものづくり人材の育成に努めることとしています。
18	意欲のある若者や元気のあるシニアによる創業への挑戦を誘導し、地域経済の活性化につなげてもらいたい。	地域の経済と雇用を支える中小企業の「源泉」となる創業を促進するため、きめ細かな創業支援を進めることとしています。
19	市の中心部には、美しく立派なアーケードと舗装がされた商店街があるが、集客できる力を常態化しなければ、将来の発展は望めないと考える。	重点施策10により、中心市街地の商業機能の強化や、消費者ニーズに対応できる魅力ある店舗・商店街の創出に努めることとしています。
20	農林水産物のセールス、広報、情報発信について、IT分野活用の施策・記述がない。	セールス、広報、情報発信において、ITの活用は重要であり、いただいた御意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
21	超高齢者社会で農林業、水産業の後継者がほとんどいない。国・県・市町は本気で取り組むべきである。	重点施策14により、農林水産業の新規就業者の確保・定着を積極的に進めることとしています。
22	農林水産業の担い手の確保・拡大には、「高齢でも意欲のある企業OB」への対応を検討していただきたい。	重点施策14により、年齢や経験の有無を問わず、県内外からの新規就業者の確保を進めることとしており、いただいた御意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
23	田舎で農業や漁業にUターン考えている人もいる。若年者人口を増やすためにも、農業や漁業の後継者育成に取り組んでほしい。	重点施策14により、県内外からの農林水産業の新規就業者の確保・定着を積極的に進めるとともに、重点施策27により、関係機関等と連携し、UJIターンによる農林水産業等への就業支援を進めることとしています。

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
24	「農林水産業担い手支援日本一の実現」とは、どのようなものかチャレンジプランを読んでもよくわからない。山口県ならではの対策をお願いする。	農林水産業への新規就業者の確保・定着を、より一層進めるため、募集から技術研修、就業、定着まで一貫した支援策を構築するとともに、新規就業者の受け皿となる法人経営体の育成等を進めることとしています。 特に就業後の定着に重点を置き、「日本一の担い手支援」と評価されるよう取り組んでまいります。
25	他の自治体から見学者が呼び込めるような、楽しむ農林水産業と、もうける農林水産業を進めていただきたい。	「元気な農林水産業育成プロジェクト」により、需要に対応した生産拡大の取組を進めるとともに、国内外に向けた販路開拓の強化や付加価値を高める6次産業化・農商工連携の推進など、農林漁業者の所得や活力の向上につながる多角的な取組を推進してまいります。
26	若者で森林を守る希望者（森林組合の作業担当者）に月給制を実施していただきたい。 若者の生活が安定し、結婚もでき、仕事に誇りと希望がわき、山口県に定住することが可能となり地域経済の活性化、地方創生の原動力となる。	重点施策 14 により、林業に関しては森林組合等への新規就業者の確保・定着に向けた研修等への支援を行うこととしております。 なお、いただいた御意見は、森林組合の雇用形態等に関わることであり、各組合において検討をお願いすることとなります。
27	鳥獣被害関連の対策が抜けているのではないか。	重点施策 16 において、「鳥獣被害防止対策の強化」と記載していましたが、御意見も踏まえ、新たに項目立てを行い、具体的な対策を掲載しました。
28	林業成長でバイオマスの発電を強調しているようにとれるが、発電はあくまでも「端材、廃部位の有効活用」であり、「木材」を商品として販売できることが林業成長の基本ではないか。	森林バイオマスの取組については、林業の成長に向けた多角的な取組として、県産木材の利活用とともに推進しているところです。 なお、重点施策 15 において、「林業の成長産業化に向けた挑戦」として、県産木材の低コスト素材生産システムの構築及び森林クラウドシステムなど新たな林業経営モデルの開発実証に取り組むこととしています。
29	「藻場・干潟の保全や離島漁業再生」のため、県として自然海岸の保存、埋立の規制・制限等を検討していただきたい。	自然海岸については、法令等に基づき、必要な規制を講じているところです。
30	水産業振興拠点が下関のみなのはなぜか。	下関漁港は県内最大の取扱量を有しており、当漁港の水揚げだけでなく、県内各地から漁獲物を搬入しています。 下関漁港を水産業振興拠点として整備することにより、広く県内水産業の振興を図ります。
31	「自然や歴史、文化、食など、様々な魅力を保有」しているのはどの都道府県も同じであり、記述する意図が不明（山口の魅力発信・観光力強化プロジェクト）。このような記述で済ますようでは、県行政が本当に、どこまで「県の魅力」について把握しているのか疑いたくなる。	記述については、県外に向けた情報発信力が弱く、伝えることのできていない本県の魅力となる「要素」を掲げたものであり、自然、歴史、食などに係る個別の詳細な内容までは記載しないこととしています。
32	他県に負けないようにマスメディアも積極的に活用し首都圏や全国に向けた情報発信を強化すべき。	重点施策 17 により、東京・大阪におけるマスメディアを通じた戦略的な情報発信を促進することとしています。
33	県内での観光情報・イベントなどを希望者に定期的にメール配信する仕組みを検討してはどうか。	県では、登録者に県内のイベント情報や県政の動きなどをタイムリーに紹介するメールマガジン「山口きらめーる」や facebook（フェイスブック）を配信しています。 今後も、SNSなどを活用した情報発信を進めていきます。

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
34	新山口駅周辺に物産、観光地等を紹介する施設を整備してはどうか。	重点施策 18 により、本県の多彩で魅力ある観光資源を活かしたプロモーション力の強化や国内外に誇れる観光地域づくりを推進することとしています。いただいた御意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
35	全国規模のコンベンションや音楽等の全国コンクールの誘致は、交流の促進や、全国への山口県の発信の機会として有効であり、強力に進めるべきであるが、県内の大規模施設（計画中を含む）は、規模、専門的な機能、附帯設備等の面で十分ではなく、全国規模の大会の開催基準・水準に達していないものが多いために誘致が困難というのが現状であり、全国大会の受け皿整備の研究も必要である。	全国規模のコンベンションやコンクール等の誘致は交流の促進や山口県の情報発信、経済効果等の面で重要であるとともに、文化ホールにおける大型イベント運営に関するノウハウの蓄積や専門的な人材の育成に資することから、いただいた御意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
36	県政資料館を維新関連のできごとを紹介する近代史資料館として整備してはどうか。 （山口市歴史民俗資料館へのスロープも整備）	本県の歴史や文化などを広く紹介していくことは、交流の促進や山口県の情報発信を推進していく上で重要であり、今後、「明治維新 150 年」を記念した取組等を進めることとしています。 いただいた御意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
37	山口の魅力を発信し、観光プロモーション力の強化等を図る上で、フィルム・コミッションの果たす役割や取組がある。県内各地でフィルム・コミッションの取組や立ち上げがある中で、県フィルム・コミッションの役割や取組を記述すべきではないか。	フィルム・コミッションの取組については、施策体系の中に位置付けており、今後とも、県内各地域のフィルム・コミッション等の活動との連携・調整を図りながら、積極的な誘致活動やロケ等の受入体制の充実に努めてまいります。
38	観光面での PR には姉妹都市等「自治体のつながり」を活用いただきたい。	観光振興を進める上で、PR 活動は重要な要素であり、いただいた御意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
39	明治維新 150 年を迎えるが、鹿児島県などと比べ取組が遅れている。観光だけでなく県全体が盛り上がるような内容を計画に入れてほしい。	重点施策 19 により、「明治維新」をテーマとした観光ブランドの構築や「明治維新 150 年」を記念した取組を進めることとしています。 いただいた御意見は、今後の具体的な検討を進める上で、参考とさせていただきます。
《地域活力創造戦略関係》		
40	生活拠点までの距離がすべての課題のもとになる。生活拠点に乗り込む発想はやめて、生活拠点を地域拠点に引き寄せていくモデルを作ってはどうか（元気で意欲のある人が地域拠点から生活拠点に出勤する）。	重点施策 21 により、住宅や福祉・商業施設等を「都市」や「地域」の拠点に集約するとともに、生活拠点を含めた拠点間の連携を強化し、利便性が高く誰もが暮らしやすいコンパクトなまちづくりを進めることとしています。 また、中山間地域においては、重点施策 24 により、基幹的集落を中心とする複数集落内で生活に必要なサービス等の拠点化とネットワーク化を図る「やまぐち元気生活圏」づくりを進めることとしています。
41	新山口駅は、交通上、山口県の玄関口である。早期に新山口駅を拠点として積極的な市街地開発を行っていただきたい。	重点施策 21 により、新山口駅をはじめ、主要な駅の拠点性や交通結節点機能の強化を図ることとしております。 いただいた御意見は、地元市との今後の協議を進める上での参考とさせていただきます。
42	山口線の新山口と山口駅間の鉄道を早期に複線化すべきと考える。	J R では、山口線を複線化するには、乗降客数が少ないと考えており、いただいた御意見は、J R に伝えておきます。

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
43	新岩国駅以外の駅（在来線含む）のバリアフリー化は完了しているのか。バリアフリー化は事業者（JR）の判断（責務）のはずだが、県がどのように推進するのか。	鉄道駅のバリアフリー化については、障害者等の利便性や安全性の向上を図るため、JRが国の基準に基づき、順次整備を進めています。県は、JRが取り組む新幹線駅等のバリアフリー化設備の整備に対し、国や地元市町と連携して支援をしています。
44	駅から中心部の商店街に直結する商店街を建設し、商店街の活性化をしていただきたい。	魅力ある店舗や賑わいのある商店街の創出は地域の活性化を図る上で重要であり、いただいた御意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
45	新山口駅の在来線側は、新幹線側以上に市街地開発が遅れており、特に、当小郡地区は住居表示も全く実施されていない。行政の怠慢ではないか。	住居表示については、地元市町において計画的に進められています。御意見については地元市に情報提供してまいります。
46	中山間地域を活性化させることは、現在の社会状況では今後絶対に無理である。中山間地域を今後は縮小させる方針で進めるべきである。	中山間地域は、人々がそこで生活を営み、地域を保全し、生産活動を継続することで、県民の暮らしに欠かせない食料の供給をはじめ、県土の保全、水源のかん養など、多面的な機能が発揮されることから、その活性化は重要な課題と考えています。 このため、「やまぐち元気生活圏」の形成やビジネスづくり等を推進し、中山間地域の活性化に取り組んでいくこととしています。
47	「中山間地域」に関する施策で道の駅（海の駅）の記述が無かったと思う。何らかの施策に組み込まれているのか。	道の駅等は、重点施策26の「やまぐちスロー・ツーリズム」の推進を図る上で、体験交流活動等の拠点となる重要な施設と位置付けており、関係団体等を通じ、施設間での連携強化などを促進することとしています。
48	「地域創生」のためにも、若者を中心とした定住施策を推進すべきである。	人口減少問題は、本県の活力を維持・向上させていく上で最も大きな課題であり、国の「地方創生」に向けた取組とも連携を図りながら、若者を中心とした雇用の場の確保やUJIターン就職対策などの重点施策を推進してまいります。
49	耕作放棄地、空き家、空き店舗、廃校など、市町村と連携し、これらの遊休資産を活用した移住・定住の促進策を検討してはどうか。	人口減少の抑制や地域経済の活性化を図る上で、幅広い世代を対象としたUJIターンを推進することは重要であり、いただいた御意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
50	Uターン就職の関係では、県内大学にきている県外出身者への働きかけを検討すべきではないか。	県の若者就職支援センターにおいて、県内大学と連携し、県内企業の魅力情報や就職関連情報の提供、カウンセリングやセミナーの実施、就職説明会等の開催など、県内就職の促進に努めているところです。
51	内外との交流を促進するため、自治体、学校などに、姉妹都市、姉妹校の取組を義務付けてはどうか（現状の5倍位まで）。	各主体の自主性を尊重する観点から義務付けは困難ですが、地域や学校間での交流を促進する観点から、いただいた御意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
52	国と協力し原子力発電の活用、天然ガスなど発電、太陽光、風力、水力発電、水素活用、バイオマス活用も重点的に進めるべきである。	国のエネルギー政策に協力するとともに、重点施策29により、再生可能エネルギーの導入を促進してまいります。
53	「等」で済まされている、エネルギーの有効活用、低エネルギー技術の拡大を検討してほしい。（地熱利用冷暖房、下水道熱利用、工業排熱地域利用等）	地球温暖化対策等を推進するため、太陽熱、地中熱など様々な再生可能エネルギーの導入促進を図ることとしており、また、エネルギーを地域単位で有効活用するスマートコミュニティの取組も進めてまいります。

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
54	流通業界による廃棄物の回収（店舗回収等）の拡大を行政として実施してほしい。	循環型社会を形成する上で、廃棄物の適正処理は重要であり、いただいた御意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
55	「使用可能だが不要」として廃棄されるものの活用（リユース）を拡大する施策をお願いします。	循環型社会を形成する上で、廃棄物のリユースは重要であり、いただいた御意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
56	野生鳥獣の「管理強化」には「活用」も含まれる。他施策と連携しての対応をお願いします。	シカやイノシシなど生息数が著しく増加している野生鳥獣の管理強化に合わせ、市町や関係部局の連携による捕獲鳥獣の活用も検討してまいります。
57	レッドデータブックでは、県内のすべての地域、領域、全ての生物を網羅されますよう早急に改定をお願いします。	今後、レッドリストの改訂作業を進める中で、いただいた御意見も参考とさせていただきます。
58	自然資源の活用、自然環境の保全は、「ある特定箇所の保全」ではなく、周辺広域を保全する必要がある点を考慮してほしい。	豊かな自然資源の活用や自然環境の保全は重要な課題であり、いただいた御意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
59	自然環境の保全・再生に関する「効果検証」のためには「現状調査」が必須なことを考慮してほしい。	自然環境の保全・再生活動に関する効果検証を進める中で、いただいた御意見を参考とさせていただきます。
60	野良犬や野良猫が増えるのは困る。しっかりとした対策を進めてほしい。	重点施策 31 により、犬猫の引取り数等の削減に向けた地域活動を促進することとしています。
61	実家の近所に野良犬がいてこわい。飼い主が責任をもって飼うように、もっと県や市が指導してほしい。	重点施策 31 により、終生飼養などの飼い主の適正飼養を促進するとともに、市町と連携し、犬猫の引取り数等の削減に向けた地域活動を促進することとしています。
62	最近ではPM2.5が多くて、子どもを外に連れ出すのが慎重になる。関係国と協力して対策をとってほしい。	重点施策 32 により、PM2.5の毎日の予報や濃度上昇時の注意喚起について、迅速かつ適切に情報提供します。また、韓国や中国との環境技術交流を通じて、本県の環境対策の取組等を発信することとしています。
63	「節水」についての記述が見当たりません。どこかの施策に追加してほしい。	工業用水関係での節水対策については重点施策 3 に記載しています。
《人材活力創造戦略関係》		
64	結婚したいと思っている男女（本人、親）は、たくさんいる。結婚できない理由やどうしたら解決できるか、真剣に考えてほしい。	重点施策 33 により、結婚を希望する方への支援に努めることとしており、いただいた御意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
65	素敵な出会いがあって結婚して、活動的になって地域貢献したいと思うので、素晴らしい施策でバックアップをお願いしたい。	重点施策 33 により、結婚を希望する方への支援に努めることとしており、いただいた御意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
66	若者への結婚を進めるため、事業所や役所等に結婚相談所（又は世話係り等）を設け、結婚までのお世話をする計画を樹立させる方法を考えてはどうか。	重点施策 33 により、婚活サポーターや企業内サポーターの養成など、地域・企業ぐるみでのサポート体制の構築を図ることとしており、いただいた御意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
67	若い人が、子どもを多く持とうと思っても、保育料などが高く、経済的にも難しい。子育てを支援するために、第2子や第3子について保育所や幼稚園を無料にするなど、経済的な負担を軽減する対策が必要と考える。	これまでの第3子以降の3歳未満児を対象にした保育料等の軽減制度に加え、幼稚園児を含む3歳以上の第3子以降の子の保育料等を、世帯の所得に応じて、最大で半額とする県独自の制度を創設することとしています。
68	児童虐待などのニュースを見ることが多い。山口県でこのようなことのないよう、対策をお願いします。	近年、児童相談所への相談件数が増加し、相談内容も複雑・多様化しています。このため、重点施策 35 により、児童虐待防止対策や社会的養護の充実に努めることとしています。

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
69	子育てと教育がしっかりと連携し、学力や体力の向上、特色ある学校づくりなどにより、将来の山口県を背負って立つ人材を育ててほしい。	保育所や放課後児童クラブ等の運営を支援するとともに、「次代を拓く教育充実プロジェクト」により、社会総がかりでの教育や多様なニーズに対応した特色ある学校づくりを推進することとしています。
70	子どもを塾に行かせなくていいように、学校で学力をしっかりと育成してほしい。	学校、家庭、地域が連携・協働した学習指導や家庭教育支援の推進を図るとともに、少人数学級化等による一人ひとりを大切にする、きめ細かな指導を進めてまいります。
71	地域教育力日本一はおもしろい取組だと思う。地域で子供を育てる取組を積極的に進めてほしい。	教育熱心な県民性や防長教育の伝統を受け継ぎ、社会総がかりによる「地域教育力日本一」の取組を着実に推進してまいります。
72	コミュニティ・スクールの県立高校への新規設置を行うべきである。	コミュニティ・スクールの県立高校への新規設置の検討を進めてまいります。
73	大学進学率が全国に比べて低い山口県が全国トップクラスの学力をめざすというのは違和感を感じる。学力とは学力調査の結果だけで測るものではないのではないか。	「学力」とは、これからの社会において求められる幅広い知識と柔軟な思考力に基づく判断を可能にする、生涯を通じて主体的に学び続ける力であり、学力調査の結果だけで測るものではないと考えています。 活力指標に掲げる「全国学力・学習状況調査の正答率」については、学力について全国比較をする上での一つの目安としているものです。
74	高校生の学力を伸ばす取組がプランからは見えない。「生徒の主体的な学びに向けたオリジナルティあふれる教育活動（重点施策 37）」とは何をするのかわからない。一般県民がわかるように記載してしっかりとした高校教育を行ってほしい。	県立高校では、各校において、確かな学力を育むための明確な学校目標等を設定し、全教職員が一体となって計画的に学力向上に取り組むこととしています。 なお、いただいた御意見を踏まえ、記載内容の見直しを行うとともに、プランの着実な推進に努めてまいります。
75	重点施策 38 に「食育、遊び・スポーツ、読書に一体的に取り組む「子ども元気創造」の取組の推進」とあるが、食育とスポーツに関する施策のみで読書に関しては記載が無い。素案 146 ページ（読書活動の充実）には、「全校一斉の読書活動やブックトーク、ビブリオバトル、学校図書館の活用など、本に親しむ機会の充実」とあるので、次の下線の文言を加えてほしい。 ○ <u>学校図書館の整備（図書資料の充実と学校司書の配置）や教科学習への活用など、子どもたちの読書・学習活動の充実に向けた取組の推進</u>	御意見を踏まえ、読書についても記載しました。 ○望ましい食習慣や読書習慣の定着などに向けた学校、家庭、地域が一体となった取組の推進
76	「第 5 章Ⅲ人材活力の創造 2(2)豊かな心の育成（読書活動などの充実）」には「県立図書館などの展示・講座等の内容の充実、学校や地域と連携した取組の推進」とあるが、「県立図書館などの」の後に、次の下線の語句を加えてほしい。 ○ <u>県立図書館などの資料の整備や司書の配置、市町立図書館への支援、展示・講座等の内容の充実、学校や地域と連携した取組の推進</u>	県立山口図書館だけでなく、山口博物館、文書館における取組も含まれていますので、各館の詳細な取組内容までは記載しないこととしています。 いただいた御意見を参考とさせていただき、今後とも、県立図書館機能の充実に取り組んでまいります。

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
77	<p>県立の高校教育の質の向上に向けた内容をプランに掲げ、取り組んでほしい。</p>	<p>「生徒の夢を志に高める高校教育」の展開方策などを掲げているところであり、自らの将来や社会を力強く切り拓いていく子どもたちの育成が図られるよう、高校教育の質の向上に取り組んでまいります。</p> <p>また、第2期県立高校将来構想に基づく特色ある学校づくりと学校・学科の再編整備の推進を掲げているところです。</p>
78	<p>県立高校には、体育コースはあるが芸術系のコースがない。特色のある学校づくりを進め、企画センスや創造力の豊かな人材を育成するため、県立高校に音楽コースや陶芸コースを設けてはどうか。</p>	<p>多様なニーズに対応した特色ある学校づくりや、学校・学科の再編整備を推進することとしており、いただいた御意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。</p>
79	<p>未来を支えてくれる優れた人材を山口で育て上げるために、県立大学等に新しい特殊学部を創設してはどうか。</p>	<p>県内の各大学は、それぞれの教育理念等に則った教育研究活動により、本県高等教育に豊かな多様性をもたらすとともに、本県の各分野の発展に貢献する人材を多数輩出するなど、地域振興の観点からも重要な役割を担っております。</p> <p>各大学では、それぞれ大学の特色・魅力づくりに取り組まれているところであり、いただいた御意見については、今後の施策推進の参考とさせていただきます。</p>
80	<p>山口博物館が閉館しているが、博物館には明治維新の貴重な歴史的な資料や科学的な資料が沢山ある。現在の博物館は他県に比べ、狭く、老朽化し、駐車場も狭い。新たな県立博物館の建設をプランにも記載し、是非進めてほしい。</p>	<p>山口博物館については、本館展示室の天井吹き付け材にアスベストの含有が認められたため、必要な対策を講じるまでの間、休館しています。</p> <p>いただいた御意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。</p>
81	<p>女性が子育てを終え、再度就職できるようにするための支援策をお願いします。</p>	<p>労働力人口が減少する中で、働きたい女性の就業を促進することは重要な課題と考えており、重点施策43により、女性の再チャレンジを促進することとしています。</p>
82	<p>生産年齢人口の減少対策として、出産、育児で仕事を離れている女性をしっかりと活用すべきである。</p>	<p>重点施策43により、様々な状況に置かれた女性が、自らの希望を実現し地域の活力源となるよう、仕事と子育て等を両立できる環境づくりや女性の再チャレンジを支援することとしています。</p>
83	<p>文化振興については、県によりやる気の差がある。都道府県間の競争に生き残るために、観光資源を売り出すだけでなく、全国に向けてやまぐち文化を創造、発信し続けていくなど、文化振興による活性化を強力に進めることが不可欠である。</p>	<p>美術館・文化ホールの機能充実や山口県総合芸術文化祭などにより、文化芸術による人づくり、地域づくりを推進することとしており、こうした取組を広く情報発信し、地域活性化につなげてまいります。</p>
84	<p>企業が実施したアンケートでは、山口県民の「地元への愛着度」「旅行のおすすめ度」は、ともに20%台、全国順位40位前後であった。県民は、明治維新などには誇りを持っていても、今の山口県には魅力を感じていないのではないかと思われる。</p> <p>県民の自信と誇りを高めるため、大都市圏との文化環境の格差を解消するとともに、県民によるやまぐち文化の創造、発信を強力にサポートすることが不可欠である。</p>	<p>地域固有の伝統・民族芸能の保存・継承など、地域の特色ある文化芸術活動の振興により、住民の自信や誇りを醸成し、地域社会の魅力創造・発信を促進することで、人づくり、地域づくりを進めることとしています。</p> <p>いただいた御意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。</p>

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
85	<p>本県は、まど・みちおや金子みすゞという偉大な童謡詩人の出身地であるから、「小さいもの、弱いものに対する限りない愛情を持つ温かい県民性」というイメージが国民に広く定着するように、文化発信を強力に推進していただきたい。</p>	<p>「山口県総合芸術文化祭」などの取組を通じ、「まど・みちお」、「金子みすゞ」などの世界を広く発信してきたところです。いただいた御意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。</p>
86	<p>山口県の歴史的・文化的特性を生かし、全国に向けた発信力と求心力を高めるため、重点施策として、山口ならではの、山口発の全国的文化イベント（音楽祭、映画祭等）を創設・育成していただきたい。</p>	<p>地域固有の伝統・民族芸能など地域の特色ある文化芸術活動や日本を代表する本県の文化人を、今後も全国に発信し続けることとしており、いただいた御意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。</p>
87	<p>人口減少を食い止めるためには、「住んでみたい、行ってみたい」と思う県づくりが必要であり、そのための教育環境、福祉・医療環境、文化環境などの充実が不可欠である。</p> <p>とりわけ、文化環境に関しては、一流の音楽や美術に常に触れることができるような条件整備を一層推進し、居住地としてのブランド的な魅力を高めていくことが重要である。</p>	<p>重点施策 47 により、文化芸術に親しめる拠点となる文化施設の機能充実や文化芸術による地域づくりなどに取り組むこととしており、いただいた御意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。</p>
88	<p>学校に芸術家・芸術団体を派遣して、児童・生徒に生の芸術を鑑賞してもらう事業がある。有意義な事業であり、県と市町や民間団体が連携して事業を拡充し、すべての児童生徒が毎年鑑賞できるようにすることを活力指標に掲げ、重点施策として推進していただきたい。</p>	<p>子どもたちが文化芸術に触れ親しむ機会を充実することとしており、いただいた御意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。</p>
89	<p>学校に芸術家・芸術団体を派遣する事業は、中山間地域では、地域の高齢者も一緒に鑑賞するので、中山間地域の元気づくりに有効である。中山間地域の小・中・高校については、全額県費負担により芸術家等を派遣し、鑑賞機会を拡大していただきたい。</p>	<p>子どもたちが文化芸術に触れ親しむ機会を充実することとしており、いただいた御意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。</p>
90	<p>文化・芸術の世界においては、昔から、男女の区別も差別もなく、女性が生き生きと活躍している。女性の活躍推進を施策の方向に掲げるのであれば、その手段として文化・芸術活動を振興する、という視点も盛り込むべきである。</p>	<p>重点施策 43 では、人口減少問題を課題として捉え、女性の活躍促進に向けた環境づくりを推進することとしています。</p> <p>文化・芸術においても、いただいた御意見を踏まえ、今後の施策推進に努めてまいります。</p>
91	<p>「地域の特色ある文化芸術活動を支援」する予算は、文化振興財団の時代と以前と比べ半減している。この施策をしっかり推進するためには、基本財産の積み増しや、高利回りの基金運用により支援体制を充実することが不可欠であり、県も、しっかり指導、サポートするべきである。</p>	<p>今後とも（公財）山口きらめき財団と連携し、文化芸術による、地域づくりを推進していきます。</p>
92	<p>「文化・スポーツの振興」（地域の振興）として、国民体育大会実施後の成果と活用実績の把握分析が不可欠と考える。</p>	<p>スポーツの推進に当たっては、国民体育大会の成果を貴重な財産として生かせるよう、平成 25 年 3 月に「山口県スポーツ推進計画」を策定し、取組を推進しているところです。</p>
93	<p>山口国体で整備された陸上競技場やプール、武道館などの施設を活用した取組をしてほしい。</p>	<p>重点施策 47 により、スポーツ選手の競技力の向上やスポーツの持つ多様な力を活用した地域づくりを進めることとしており、こうした取組において山口国体で整備された施設の活用を推進してまいります。</p>

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
94	プランに、東京オリンピックのキャンプ地誘致などを掲げるべきではないか。	重点施策 47 により、東京オリンピックも視野に、キャンプ地誘致による地域活性化の取組を掲げているところです。
95	山口県にはプロスポーツがないので、プロスポーツを誘致するなど、県民が元気になるような取組をプランに入れてほしい。	レノファ山口がプロサッカーチームとして、J3 への昇格を果たしたところであり、今後、県としても可能な支援を継続して行うこととしています。
96	長崎国体では前年より総合順位が上がったが、さらに選手強化を行ってほしい。	プランでは「活力指標」に「国民体育大会総合成績」を掲げ、優秀選手の育成・強化や指導者の育成・確保を進めていくこととしています。
97	高校総体が行われるようだが、東京オリンピックに向けて、高校生などの選手強化を進めてほしい。	全国高等学校総合体育大会、全国中学校体育大会の開催に向けた競技力の向上を図ることとしており、こうした取組を通じて東京オリンピックに向けた選手強化につなげていくこととしています。
98	高校野球や高校駅伝などで好成績をあげると、県内だけでなく、県外在住の県出身者の間でも盛り上がるので、このような種目について選手の競技力の強化をプランに入れてほしい。	学校における運動部活動については、中・長期的な視点に立った選手・指導者の育成や競技水準のレベルアップなどを通じて、各種競技の選手強化につなげていくこととしています。
《安心・安全確保戦略関係》		
99	防災・危機管理体制等の充実、強化により災害に強い県づくりを進めるべきである。	「災害に強い県づくり推進プロジェクト」により、市町とも連携しながら、防災・危機管理体制等の充実・強化をはじめとする「災害対応力の強化」、「社会インフラの老朽化対策の推進」、「生活・社会基盤の耐震化の推進」、「地域防災力の充実強化」に向けた取組を進めてまいります。
100	3月に山口県で震度5の地震が起きた。震度6くらいの地震はどこでも起きるものと考えて準備すべきではないか。	「災害に強い県づくり推進プロジェクト」により、大規模災害に備えた防災・減災対策や施設の耐震化などを確実に進めるとともに、地域防災力の強化に努めてまいります。
101	個々の大型設備（コンビナート等）における防災・避難計画の早期作成とともに、新規大型設備については、建設関連工事前の防災・避難計画作成を必須とするよう希望する。	石油コンビナートの防災・避難計画については、「山口県石油コンビナート等防災計画」等に定めており、毎年、計画の充実・強化を図っています。また、大型設備の新規建設の際には、その都度、関係機関で協議の上、見直しています。
102	社会インフラの老朽化対策の対象に「上水道」が無いのは「等」に含まれているのか。	本県における上水道事業は、市町等により実施されており、プランには具体的に掲載していませんが、市町等による老朽化対策を促進しているところです。
103	公共施設については、耐震化とあわせて防災・避難拠点化をお願いする。 (備蓄、エネルギー拠点、情報・通信拠点)	公共施設については、災害時の応急対策の拠点として活用されることから、「災害に強い県づくり推進プロジェクト」に掲げる重点施策である「生活・社会基盤の耐震化の推進」において、引き続き、公共施設の耐震化の推進に取り組んでまいります。
104	行政には地域（住民）が望んでいる防災・避難計画の作成をお願いする。	災害対策基本法に基づき、県・市町において「地域防災計画」が作成され、毎年、見直しが行われているところです。
105	治水対策は重要であり、平瀬ダムや木屋川ダムについて、山陰道のように箇所名を明記してしっかり取り組んでほしい。	プランには対象施設の箇所名までは明記していませんが、治水対策は重要と考えており、河川改修はもとより、平瀬ダムや木屋川ダムなどのダム事業を着実に進めてまいります。

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
106	山口県は医療費が高いという報道を見た。病床数が多いのが問題との内容だったと思うが、病院が多く、病床数に余裕があることは安心・安全のためにも大切なことであり、病床数の削減は行わないでほしい。	高齢化の進行に伴う医療需要の増大に対応していくため、個別計画である「地域医療ビジョン」に基づき、地域の実態に応じた医療提供体制の構築を推進することとしています。
107	長野県は減塩などの取組を進め、平均寿命が日本一となったという話もあるが、そのような取組を計画に入れてほしい。	重点施策 57 により、健康寿命の延伸に向けた取組を推進することとしています。いただいた御意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
108	医療費の増大は国や県の財政を圧迫する。生活習慣病を予防するなど、普段から健康に気をつけるような意識付けが重要と考える。	重点施策 57 により、生活習慣病の予防やライフステージに応じた健康づくり対策、生活習慣の改善、社会環境の整備に取り組むこととしています。
109	子どもの通学路を、スピードを出して走行する車が多くて大変怖い。警察の方で対策をとってほしい。	重点施策 61 により、通学路等におけるゾーン 30 等の交通環境の整備や地域ボランティア等と連携した登下校時の見守り活動の推進、効果的な交通指導取締りによる悪質危険ドライバーの排除に向けた取組を推進してまいります。
110	交通事故については、自転車対策の追加を検討してほしい。	重点施策 61 による、交通マナーの向上を図る県民運動や交通安全教育の中で、自転車対策について取組を進めてまいります。
《行財政基盤強化戦略》		
111	国民文化祭と国体の開催により、文化・スポーツがもたらす経済効果や集客力の高さが実証された。これからの文化・スポーツ振興と観光振興を一体的かつ強力に推進するため、「文化・観光・スポーツ局」のような組織を作ってはどうか。	現在、総合企画部内に「スポーツ・文化局」を設置しています。県政の主要課題に即した組織体制の見直しを進めることとしており、いただいた御意見は今後の参考とさせていただきます。

【活力指標に関するもの】

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
112	人口減少社会へ挑戦するのであれば、人口目標を掲げるべき。人口目標が難しいなら、出生数や出生率などの目標を示してはどうか。	プランでは数値目標として「人口目標」を設定していませんが、県民の皆様には人口減少の危機的な状況を周知するため、現在の趨勢で試算した推計値を示しているところです。
113	港湾機能強化の指標を「石炭輸入量」とするのはなぜか。他にも指標となりうるものはあると思うが。	重点施策 1 で進める「国際バルク戦略港湾（徳山下松港・宇部港）育成プログラムに沿った取組の推進」の成果を示すものとして「石炭輸入量」を挙げています。
114	道路網整備、工業用水安定供給に関する指標は設けないのか。	いただいた御意見を踏まえ、道路網整備に関する指標を追加設定しました。工業用水安定供給については、「工業出荷額」により成果を測ることであります。
115	「やまぐちブランド」「やまぐち食彩店」は県なりが指定するものと記憶しています。県が指定するものの「数」を県政施策の「指標」とするのはいかがなものかと感じます。	お示しの指標は、生産団体や事業者等の申請を受け、関係団体等で構成する協議会で協議し、登録するものです。 県産農林水産物の販路拡大を進める施策マネジメントの一環として設けています。
116	「輸出販売品数」「新商品開発件数」より、それらの「売上」の方が大切・指標として適切ではないか。	お示しの指標の「売上」は、経済情勢（景気や為替の動向等）による影響が大きいなど、生産者等の努力が反映されにくい面もあることから、これらの指標を設定することとしています。
117	耕作放棄地の管理状態、県内自給率他、指標となるもの、すべきものはまだあるのではないか。	活力指標については、重点施策の進捗状況を測る上で、代表的な指標を掲げることとしております。

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
118	農林水産業であれば食糧自給率、温暖化問題ではCO2の排出量などの代表的な指標は必要ではないか。指標の見直し、追加等の検討をして欲しい。	活力指標については、重点施策と合致するものを挙げています。
119	各種交通（空港、JR、バス）の利用者数（乗降者数）は指標として取り上げないのか。	活力指標については、重点施策と合致するものを挙げています。 なお、空港の利用者数については、突破プロジェクト6の指標として挙げています。
120	「生活交通の維持・活性化」や「新幹線の利用促進」を判断する指標が見当たらない。	「生活交通の維持・活性化」の指標として、「デマンド型乗合タクシー等導入数」を挙げています。 活力指標については、重点施策の進捗状況を測る上で、代表的な指標を掲げることとしており、重点施策23「交流を促進する高速交通ネットワークの整備」に係る指標としては、山口宇部空港等の利用者数を設定しています。
121	「農林漁家民宿数」と共に「宿泊者数（のべ）」も指標とすべきではないか。 （「体験型教育旅行受入地域数」も同じ）	「農林漁家民宿」「体験型教育旅行受入地域」については、県全体への波及を図る観点から、その設置数をもって取組の成果を測ることとしていますが、御意見の趣旨も踏まえ、都市農山漁村交流の全体については、新たに「農山漁村交流滞在人口」を指標として掲げました。
122	中山間地域への人の行き来の指標は他に無いのか。（特定路線（鉄道・バス）利用者数等）	「地域の元気創出応援プロジェクト」では、日常生活交通の観点ではなく、中山間地域での交流ビジネスづくりの観点から指標を掲げています。
123	「県のエネルギー自給率」は算出できないか。	県のエネルギー自給率の算出は困難ですが、「再生可能エネルギーの発電出力」などの指標を掲げ、再生可能エネルギーの導入を促進してまいります。
124	「県の廃棄物リサイクル率」は算出できないのか。	本県のごみのリサイクル率は「県循環型社会形成推進基本計画」に掲げて推進しております。なお、活力指標については、重点施策の進捗状況を測る上で、代表的な指標を掲げることとしています。
125	リサイクル率と共に、「行政が処理する廃棄物量」も指標として減量を目指すべきである。	活力指標については、重点施策の進捗状況を測る上で、代表的な指標を掲げることとしております。
126	統括コーディネーターの全中学校区への配置を施策とするなら指標に入れるべきである。	
127	「35人学級化の取組推進」を施策とするならば指標にも追加すべきである。	「35人学級化」は、現時点で既に100%であることから、進捗状況を測る指標としては掲げておりません。
128	重点施策40の「山口県立大学の整備充実」に対応する指標の設定がないのはなぜか。どのように県立大学の整備の進捗を測るのか。	御意見を踏まえ、関連する指標を追加しました。
129	実効性のある文化振興施策を推進するため、児童・生徒、更には全ての世代の視点での活力指標を設定するべきである。	
130	国民文化祭を開催した県では、総合計画に文化振興に関する数値目標を掲げている。 本県も、施策の実効性を高め、国民文化祭の成果を風化させないようにするため、文化・芸術に関する具体的な活力指標を設定するべきである。	

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
131	文化・スポーツの指標として、各種施設の利用者数というものは無いのか	御意見を踏まえ、「県立美術館の入館者数」を追加しました。
132	健康寿命①（日常生活に制限のない期間の平均）と健康寿命②（日常生活動作が自立している期間の平均）の違いがわかりづらいので、②については（ ）書きで、「要介護2～5の認定を受けていない期間」を追加するなどしてはどうか。	資料編の「活力指標一覧」に、指標や目標数値の説明を加えました。
133	プランに、「喫煙・飲酒などの生活習慣の見直しに向けた取組の推進」とあるが、例えば喫煙率といった指標を設定し、全県的に進めてほしい。	活力指標については、重点施策の進捗状況を測る上で、代表的な指標を掲げることとしております。
134	健康診断の受診率とか、がん検診受診率などの指標を入れて、県としても健康づくりを進めてほしい。	活力指標については、重点施策の進捗状況を測る上で、代表的な指標を掲げることとしております。
135	指標に「献血者数」「骨髄バンク登録者数」「がん検診受診者数」等、他にも追加できる、追加すべき項目があるのではないかと。	
136	食の安心・安全を施策とするのならば“地産地消”に関する項目を指標に入れるべきではないか。（県内自給率 等）	
137	県民や市町村が目指すべき指標なども加えてはどうか。	活力指標の目標値は、県の取組だけでなく、市町や企業、関係団体、県民の皆様が力を合わせ、達成するものであり、県民共有の目標指標として位置付けています。
138	「森林バイオマス利用量」とはどこまでを指すのか。（木材利用も森林利用）	資料編に「活力指標一覧」を掲げ、指標や目標数値の説明を加えたほか、資料編に「用語解説」を設けました。
139	「就労継続支援B型事業所における工賃」「がんの年齢調整死亡率」など、どのような指標なのかわからない。説明をつけるなどしてほしい。	
140	目標値を達成することにより、山口県がどのような状態になるのか示してほしい。	
141	各分野で活力指標にふさわしい高い目標を掲げ、しっかりと取り組んでいただきたい。	活力指標については、プランの進行管理が適切に実施できるよう、目標値を設定するとともに、追加・見直しを行いました。
142	「活力指標」という名称にふさわしい高い目標を掲げ、しっかりと取り組んでいただきたい。	
143	指標は目標値が示されていない。より高い目標を設定し、積極的な取組を進めて欲しい。	
144	施策に掲げているのに指標が全くないという箇所が散見された。再確認してほしい。	

【わかりやすい記載を求めるもの】

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
145	「企業数のうち中小企業は99.9%を占めており…」とある。中小企業支援は必要だろうが、企業数だけでなく、従業員数や生産額も提示いただきたい。	一部分のみが具体的になりすぎないように、全体のバランスに配慮した記載に努め、代表的な数値として提示させていただきました。
146	挑戦する中堅・中小企業応援プロジェクトの「現状と課題」で、「中小」「ものづくり」を強調する中、重点施策に「地域性・多様性あふれる商業・サービス産業」の振興が突然登場し、違和感を持った。	プロジェクトの「現状と課題」の中で、「商業・サービス産業」の状況について、記載することとしました。
147	「元気な農林水産業育成」と一次産業を別枠としているが、他産業（プロジェクト2、3）との関連を押さえてほしい。	本県の活力源は強い産業であるとの認識のもと、産業活力戦略として、第1次産業から第3次産業までを5つのプロジェクトに分類し、重点的な施策を掲げることとしたところです。

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
148	第2章の「課題」で、医師数のグラフがあるが、プロジェクトの「現状と課題」と同じ内容になっている。重複した記載とならないように、他の課題と置き換えるなどすべき。	御意見を踏まえ、記載内容の見直しを行いました。
149	各プロジェクトの現状と課題を見ると、統計的データが使われ、グラフなどを使用して分かりやすいものもあれば、プロジェクト1～4のように、グラフ等もなく抽象的な記載となっているものがある。充実した記載内容にしてほしい。	充実した記載内容となるよう、見直しを行いました。
150	数字を挙げて説明すべきところを「少ない」「多い」の表記だけで済ませており、判断材料が限られる。 (例) 風水害や地震も少なく 第2次産業の比率が高く	一部分のみが具体的にすぎないよう、全体のバランスに配慮した記載としました。
151	資料の「出典」は記載されているが、「いつのデータ」か不明なものがある。 (例) 山口県への転入・山口県からの転出	いただいた御意見を踏まえ、見直しを行いました。
152	重点施策2の記載内容と重点施策22の記載内容がほとんど同じで重複した記載となっている。再掲はできるだけ少ない方がいいし、再掲する場合も記載方法を統一すべき。	再掲の項目については、記載内容をできる限り簡略化することとしました。
153	重点施策1～3については、県内のどこにあるのか、わかるように地図などを入れたらどうか。	可能なものは地図を掲載するなど、わかりやすい内容となるよう、工夫しました。
154	重点施策4で「地域イノベーション戦略推進地域」とか「クラスター構想」とか、どのような制度なのか分からない。注釈などをつけてほしい。	資料編に「用語解説」を設けました。
155	一般市民にはなじみのない言葉、語句が散見され、理解に苦しむ。 (例) 2025年問題、スマートファクトリーモデル、インキュベーション機能、アウトソーシング	
156	重点施策において、具体的に記述されたものと、そうでないものがある。具体性を高めてほしい。	プランでは、今後4年間に県が進める施策の基本的な内容を掲げています。わかりやすさと具体性を高めるため、推進フロー図等を追加しました。
157	計画を作るだけでなく、その後の進行管理が重要である。進行管理の方法なども具体的に記載してほしい。	いただいた御意見を踏まえ、具体的な記載に努めました。
158	第6章にプランの着実な推進とあるが、より具体的な記載をすべき。	
159	「年次スケジュール」の表において、矢印の箇所の記述が半分しか印刷されず、見えにくいので、修正してはどうか。	できるだけ見やすくなるよう修正しました。
160	一般県民にわかりやすい内容となるよう、説明や写真をいれるなど工夫してほしい。	取組内容等がわかりやすくなるよう、写真やイメージ図等をできるだけ掲載しました。
161	図や写真を入れるなど県民にも分かりやすい計画としてほしい。	

【その他】

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
162	独身者が増えると福祉関係等財政負担も増加すると思う。独身でいることの将来のデメリットをアピールしてほしい。	結婚については、本人の自由意思によるものであり、特に独身者のデメリットをアピールすることは考えておりません。

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
163	市町や企業、県民の具体的な役割などを記載してはどうか。	突破プロジェクトごとに「県民等に期待する役割」について、掲載することとしました。
164	第2章の特性や課題を受けて、プロジェクトが設定され、各プロジェクトの現状と課題を受けて重点施策が設定されているような構成にすべきではないか。	御提案の内容に沿った構成としていますが、その考え方をお示しするため、第1章に「プランの全体構成」を加えました。
165	第5章では、第1～4章で示された施策について、具体的な施策等が記されていると思うが、不足あるようなら項目追加の上、着実な実施をお願いします。	第5章では、県政の各分野において、基本目標の実現に向けて進める施策を網羅的に掲載することとしています。いただいた御意見を踏まえ、見直しを行いました。
166	進行管理のPDCAサイクルは「年1回」でしょうか。極力早期回転をお願いします。	PDCAサイクルによる事業の見直しについては、事業実施による成果や課題を踏まえて行うものであり、年1回としています。
167	「やって当然」「100%を目指すべき、目指さなくてはいけない」案件が指標や施策に散見される。わざわざ素案に入れる意図・意味が不明瞭と考える。 (例) 予定価格の事後公表、低価格入札対策、環境基準の達成率	対策を講じなければ、達成できない取組などであり、着実な推進を目指すために、施策や指標を掲げているところです。
168	専門的内容となっている施策も多いと思われます。今後、専門家による議論を実施するなり、資料をそろえて個別に意見募集をするなりの対応をお願いします。	プランの策定に当たっては、「未来開拓チャレンジプラン懇談会」において有識者、学識経験者等からの専門的・大局的な御意見もお聞きしながら、検討を進めてまいりました。
169	これだけの内容を今後進めていくだけの「人力(マンパワー)」が県行政にあるのか心配である。	プランでは、今後4年間に進める県の施策を掲げております。職員一人ひとりの能力を高め、効率的な実施に努めてまいります。
170	各所に「充実」「推進」「強化」「整備」「促進」「支援」「活用」等の言葉が使われているが、どう進めていくのか具体化はこれからと思う。「情報発信」を含め、迅速・適切な対応をお願いします。	平成27年度当初予算編成ではプランの方向性に沿った事業の構築に努めたところです。今後もいただいた御意見も踏まえ、プランの着実な推進に努めてまいります。
171	「人」に関する記述が多いが「人」を多く抱えているのは「企業」(従業員家族やOB組織、関連団体も含め)と思う。企業にどう広報～指導を行い、どう協力を求めるのか、検討してほしい。	プロジェクトごとに、県民や企業等に期待する役割を記載することとしました。いただいた御意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
172	膨大な量の資料となる案件のパブリック・コメントの期間が1か月とは短すぎる。また、パブリック・コメントの広報が不足している。期間延長又は近いうちの再実施を希望する。	本パブリック・コメントは「山口県パブリック・コメント実施要綱」に基づき実施しました。 パブリック・コメントの実施については、県ホームページに掲載するとともに、新聞広告やテレビスポットなどにより広報に努めました。いただいた御意見は、今後のパブリック・コメントを実施する際の参考とさせていただきます。
173	パブリック・コメントの広報は充分と考えるならば、素案中の「情報発信」というのはすべてこの程度のものになるということか。	本パブリック・コメントは「山口県パブリック・コメント実施要綱」に基づき実施しました。 いただいた御意見も参考に効果的な情報発信に努めてまいります。
174	新聞で、地方創生やプランの推進に係る政策提言・提案を行う内容の記事が掲載されていた。 この「提言」「提案」は、『素案』にも関係があると思われるので、『素案』との関連性を明示してほしい。	新聞報道の内容は、国の進める地方創生や、チャレンジプランの推進に関連して、国への提言・提案を実施したものであり、プラン素案とも整合が図られています。